

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】庄内町バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口 (人)	面積 (km ²)
		公表回	公表年月日				
2(旧立川町)	2005.3.30	30	2008.11.28	山形県	庄内町	24,677	249.26
構想の要約		豊富に存在するバイオマスを有効に活用し、地域と一体となって、持続可能なエネルギーの自給自足と資源循環型社会を形成することにより、地域特性を活かした低炭素社会の実現を目指す。これまで取り組まれている廃食用油のリサイクル、生ごみ、畜ふん、もみ殻の利活用を進めるとともに、木質バイオマス、生ごみ、農業集落排水汚泥等のエネルギー利用など新たな利活用の検討を進める。					
構想に盛り込まれた事業		①木質バイオマスの利活用 ③生ごみ、畜ふん、もみ殻の利活用 ④農業集落排水汚泥のリサイクル ⑤生ごみの利活用バイオマスガス		②廃食用油のリサイクル ⑥農業集落排水汚泥のリサイクル			
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス				
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物
農業系廃棄物(廃菌床など)		野菜等非食部		
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○	
廃食用油	○	果樹剪定枝	○	
水産加工残さ		竹材		
製材工場等残材	○	その他()		
建設発生木材	○			
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草				
古紙・廃棄紙				
下水汚泥など	○			
その他()				

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化		直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(敷料)		炭化	○
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

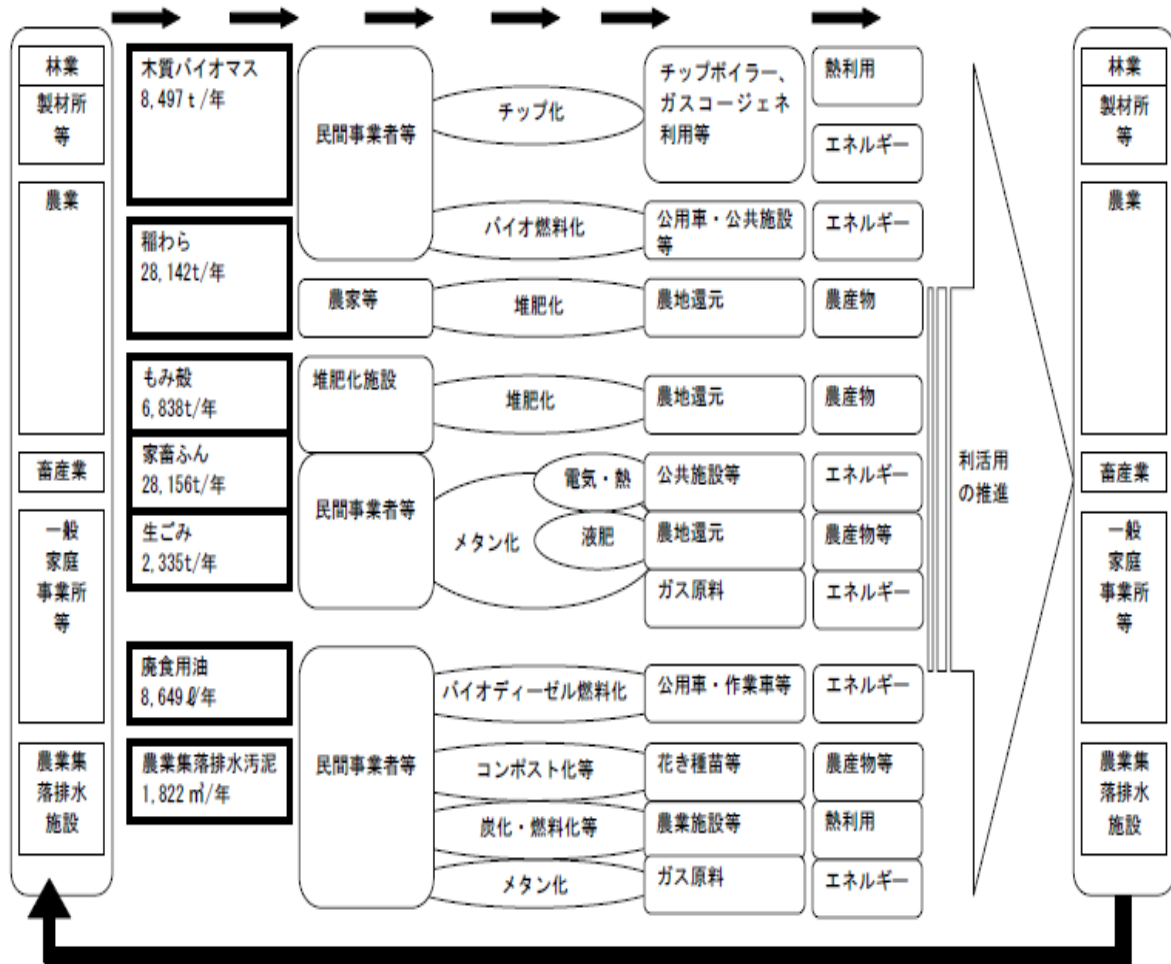
実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマス	賦存量	現在の利用 状況	仕向量	利用率	利活用目標	利用が想定される 量		目標値	
						新規	合計(※)		
廃棄物系バイオマス	9,734.4						8,814.4	90.5%	
廃棄物系	生ごみ (t/年)	堆肥化	535	22.9%	堆肥化	123	2,101	90.0%	
					バイオガス化	1,443			
	家畜ふん (t/年)	28,156	堆肥化等	25,947	92.2%	堆肥化等 バイオガス化		25,947	92.2%
	廃食用油 (ℓ/年)	8,649	バイオディー ゼル燃料化	5,082	58.8%	バイオディー ゼル燃料化	2,702	7,784	90.0%
	農業集落排水汚泥 (m ³ /年)	1,822	町外でリサ イクル	0	0%	乾燥・バイオ ガス化	1,822	1,822	100.0%
	製材所残材 (m ³ /年)	6,070	チップ化等	4,759	78.4%	チップ化・ペ レット化等	704	5,463	90.0%
建設発生木材 (t/年)	1,793	資材、原材料 等	572	31.9%	チップ化・ペ レット化等	1,401	1,613	90.0%	
未利用バイオマス	10,690.0						8,059.1	75.4%	
未利用	林地残材 (m ³ /年)	2,706	チップ化等	271	10.0%	チップ化等	0	271	10.0%
	間伐材 (m ³ /年)	2,000	未利用	0	0%	チップ化・ペ レット化等	1,000	1,000	50.0%
	果樹剪定枝 (t/年)	235	未利用	0	0%	チップ化・ペ レット化等	119	119	50.6%
	稲わら (t/年)	28,142	耕種農家利 用	21,388	76.0%	耕種農家利用	0	21,388	76.0%
	もみ殻 (t/年)	6,838	堆肥化・家畜 敷材等	6,086	89.0%	堆肥化・家畜 敷材等	0	6,086	89.0%

バイオマスタウン構想概要図

(バイオマスタウン構想書からコピー)



実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)